



僕が

魔女
になっ
た日

R18



僕が魔女になった日



僕は、普通産まれた時から
持っている筈の魔力を

持っていないなかった



この国は今
魔力が全てだ

魔力が強ければ
強いほど

人の役に立ち
いい仕事が増え
いい暮らしが
できると教わった



父さんも母さんも
とても魔力の高い
優秀な

魔法使いと
魔女だ

だからこそ
二人とも僕を
心配している



ごめんなさい
レミール…

私が…私が
魔力を与えて産んで
あげられなかったから…

ごめんなさい
ごめんなさい…



大丈夫だよ
母さん…僕
頭だけいいから

なんとか
頑張るよ

母さんは毎日
泣いていて…

最近は病気がちに
なっていました

これ以上母さん達に
心配かける訳には
いかない…

幸い頭だけは
よかった僕は
図書館や資料館に
通いつめて

見つけた…
この洞窟だ…!!

そう…
見つけたんだ

……。

魔力を手に入れる
方法を!!

一生魔力がなくて
母さんまで失って
苦しむ人生より

魔力が手に入る
希望を持って

悪魔の棲む洞窟へ
命の危険を顧みず
ここまで来た

確か本によると
……

悪魔に頼めば
魔力がもらえるって
書いてあったな……

悪魔が僕に
何するんだろう……

覚悟してたけど
こ…怖いなあ…

す…すみません
あ…悪魔さん…

いらっしやい
ますか…？



あっ…あのっ

え…あ…



魔力を持たない
ゴミ人間のガキが

俺様に何の用だ



ぼ…僕でよければ

人殺しとかじゃ
なければ…

できる限り
何でもしますっ…!!



ぼ…僕に
魔力をくださいっ!!

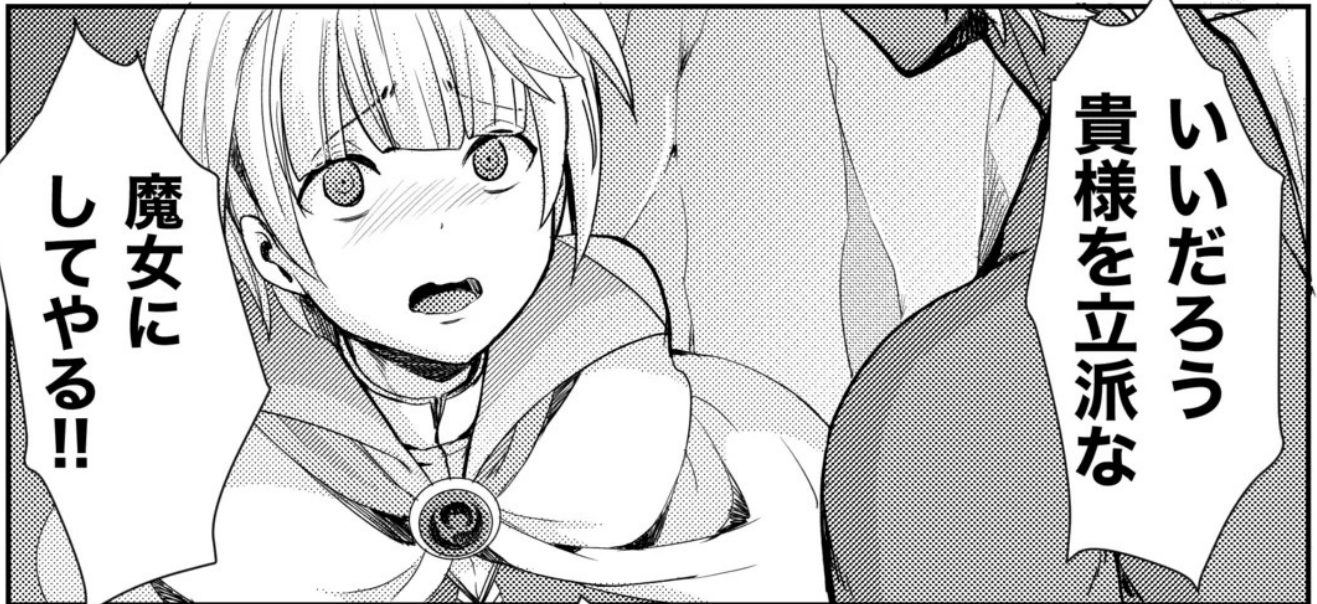


だから僕に
魔力を…くださいっ



ははっ貴様
女かとおもいきや
男か!

面白い!!



いいだろう
貴様を立派な

魔女に
してやる!!



え…魔女って…

僕は男…

うるせえな!!
おとなしくしろ!!

がしっ

うわあっ!!



玩具として
使用してやる!!

むぐっ!!



丁度最近目覚めた
ばかりで、溜まって
たからな

貴様の
体を...



ほらほら
魔力が欲しけりや
すっかりくわえるよ!!



なにこれっ
苦しくて死にそう
暑くて太くてっ
喉の奥が壊れるっ!!



感謝しろよ
クソガキ、この俺様が





これを舐めてると
頭がぼーっとして
くる…なんでだろ

お前みたいな
欲にまみれた
奴は嫌いじゃないぜ

ひいっ!?

ひゅっ
ひゅっ

ひゅっ

な…っ
なんで
そんなことっ?!

魔力が欲しいなら
大人しくしろ

わかったか
クソガキ!

わっ

ふあっ!?

ズッ



熱くて
にゆるにゆるっ!!

あつあ..
何これえっ! お尻の中がっ



そこ変っ!!
だめえっ!!



っん...あ

そっっ!!



あつあ...っ
お尻あついつ!!

んあつ

あつ

ああつ

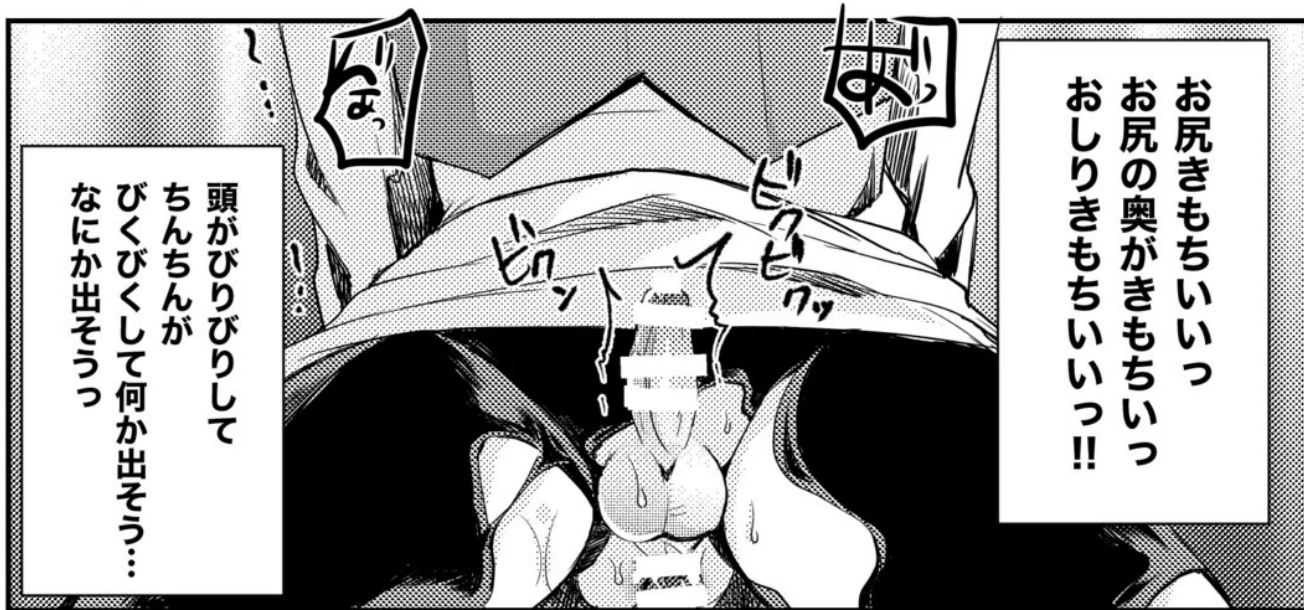


その辺のヤバイ
ヤクよりキマるぜ？
よかつたな



俺の体液から
魔力を吸収して

初めての大量の
魔力に体が
超敏感に
なってるな



お尻もちいいっ
お尻の奥がきもちいいっ
おしりきもちいいっ!!

頭がびりびりして
ちんちんが
びくびくして何か出そうっ...
なにか出そうっ



ん...え？



そろそろ
ブチ込んでやるか

又...!!



僕はそのまま
気を失ってしまった

気が付いたら
洞窟の前で
倒れていた

僕は本当に魔力を手に入れたのだろうか

そう思った瞬間
溢れ出そうになる
位の魔力を自分に
感じて

とても
興奮した





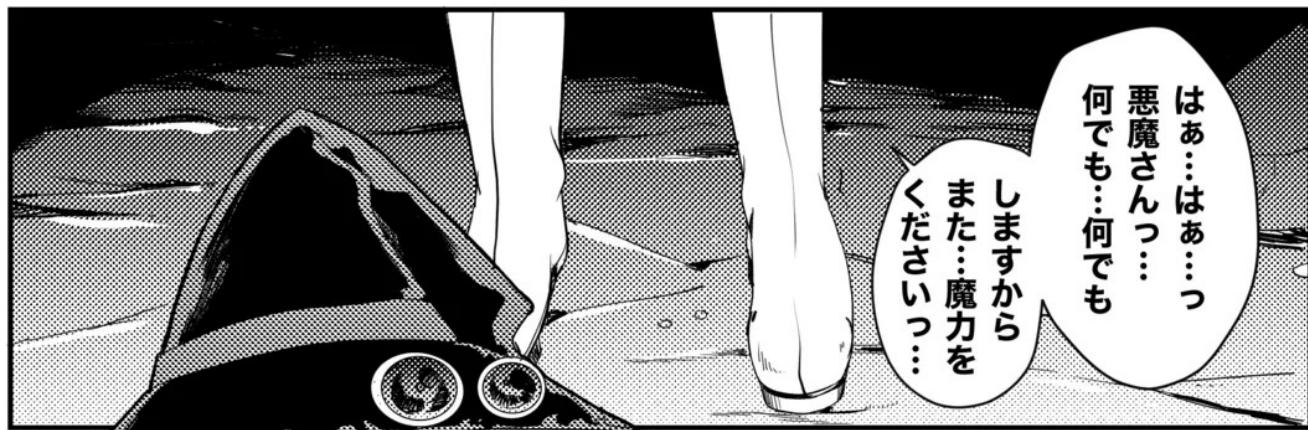
でもそれは
大きな間違い
だったのかも
しれない…

きっとこれで
よかったんだ…僕は
そう思っていた



はあ…はあ…っ
悪魔さんっ…
何でも…何でも

しますから
また…魔力を
くださいっ…



随分と
立派な魔女に
なってきたな

早くこっちへ
来い

はい…



また
来たのか？



あとがき

この度はこの本を手にとっていただきまして
誠にありがとうございます！
この作品は続き物としてあと2作ある予定です！
よろしかったら最後までおつきあいくださいませ

僕が魔女になった日

2019/12/30 コミックマーケット97

もりもりルンルン/まんぼん練

Email: r_shima9x9@hotmail.com

Twitter:@ManbooRerere

印刷：トム出版様

＊オークション出品、ネットへのアップロードはご遠慮ください

僕が魔女になった日

もりもりルンルン